

第 88 回大腸癌研究会リンパ節委員会議事録

平成 30 年 1 月 25 日 (木) 10:00~11:00

都市センターホテル 6F607

出席者 (敬称略): 森・高橋 (駒込)、固武 (佐野)、橋口・端山 (帝京大)、板橋・小川 (女子医大)、肥田 (近畿大)、神藤 (防衛大)、小澤 (栃木がん)、衣笠 (久留米大)、金光 (国がん中央)、上野 (がん研)、大植・西村 (大阪がん)、野澤 (東京大)、須藤 (山形県立中央)、渡邊 (横浜市大センター)、田口・杉野 (新潟大臨床病理)、池 (済生会横浜市南部) 22 名

検討事項

1) ワーキンググループの発表

(1) 側方リンパ節、主リンパ節転移の位置づけの検討 神藤 (防衛医大)

- ・大腸癌全国登録からの検討
- ・リンパ節転移分類について規約分類、TNM 分類、新分類 1、新分類 2 を比較し、新分類の精度が優れている。
- ・N3 と転移個数を利用した新たな N 分類の構築
- ・pN3 症例における腸管傍・中間リンパ節転移個数の意義
- ・側方郭清を行った下部直腸癌症例における側方リンパ節転移の位置づけを検討するためにリンパ節委員会における症例集積を企画する。

(2) RS 癌の DM について 小澤 (栃木がんセンター)

- ・大腸癌全国登録から検討
- ・今後、腫瘍の組織型、深達度、大きさによる検討、局所再発から見た DM の検討も進めていく。
- ・PM に関する検討も行う。

(3) SMA 系リンパ節について 高橋 (駒込)、渡邊 (横浜)

- ・盲腸癌のリンパ節郭清範囲について自施設データより検討
- ・右側結腸癌における D3 の郭清の境界について自施設データより検討
- ・今後、SMA 領域のリンパ節の境界、郭清範囲などについてリンパ節委員会内でコンセンサスをつくる必要がある。

(4) 肛門管癌 (腺癌) について 横浜市立大学 大田先生

- ・大腸癌全国登録から検討中

2) その他

(1) ICG を用いたリンパ流の検討—脾弯曲部のリンパ流— 渡邊 (横浜)

副中結腸動脈が約 30% の症例で認められる。

副中結腸動脈に沿ったリンパ流についてワーキンググループを立ち上げて検討を行う。

3) 業績 (平成 29 年 7 月以降)

・論文

- ① Ogawa S, Hida JI, Ike H, Kinugasa T, Ota M, Shinto E, Itabashi M, Okamoto T, Yamamoto M, Sugihara K, Watanabe T.

Prediction of lateral pelvic lymph node metastasis from lower rectal cancer using magnetic resonance imaging and risk factors for metastasis: Multicenter study of the Lymph Node Committee of the Japanese Society for Cancer of the Colon and Rectum. *Int J Colorectal Dis.* 2017Oct;32(10):1479-1487. doi: 10.1007/s00384-017-2874-9. Epub 2017 Jul 31. PubMedPMID: 28762189.

② Shinto E, Hida J, Kobayashi H, et al.

Prominent information of jN3-positive in Stage III colorectal cancer removed by D3 dissection: Retrospective analysis of 6 866 patients from a multi-institutional database in Japan. *Dis Colon Rectum.* 2018;in press.